

第2回 学校運営協議会だより

令和4年7月7日
横浜市立山王台小学校
校長 遠藤 清美

7月6日(水)に、第2回目の「学校運営協議会」が行われました。その際にいただいた意見などを紹介させていただきます。

1 令和4年度 学校運営協議会委員

2 第2回 学校運営協議会の内容

- 授業参観について ○『運動会』アンケートについて
 - 『学校をひらく週間』アンケートについて ○学校給食試食等
- 次は、いただいたご意見の一部です。

(1) 授業参観について

- ・タブレットを使用しているクラスがあったが、先生の話を書くときは、タブレットを置くなど、ルールを決めるとよい。
- ・先生や友だちの話をしっかり聞くように、学校としてのルールを決めることも必要ではないか。
- ・1年生は、マス目を使って名前を書く練習を繰り返すことがまだまだ大切だと思う。
- ・タブレットを使用していると、コピーで作業を済ませてしまう子もいるが、それでよいのか。
- ・タブレット活用方法をしっかり身に付けるために、もっと早く学校に取り入れて欲しかった。

- ・ ICT 機器使用は、低学年や高学年では使う頻度が違うので、きめ細やかな調整が必要だと思う。まためりはりも大切。
- ・ 音楽など、実技的な授業はタブレットの使用が難しい部分もある。
- ・ 対話的な授業という観点においてみると、それぞれの学年において、ペア、一斉、グループなどいろいろな形式を見ることができた。
- ・ 高学年に授業において、発表の連鎖を見ることができ、対話的な雰囲気が見て取れた。

(2) 『運動会』『学校をひらく週間』アンケートについて

- ・ 熱中症予防のため、子どもたちにもテントを用意して欲しいという意見がある。他校ではテントを設置しているところもある。
- ・ 競技の合間に、水分補給等のため、校舎内に子どもを入れる時間を設けていた学校もあったが、保護者の間では好評であった。
- ・ 次年度、運動会開催は秋になるが、まだまだ暑いことが予想されることから、10月下旬などに時期をずらして行うよう計画を立てていく予定である。
- ・ テントも準備できれば、検討していきたい。
- ・ 保護者としては、午前中開催は有難い。
- ・ 今後、運動会をよりよりものにしていくために、その都度何がベターかをよく考えることが必要である。そして、その過程や結果を保護者や地域にしっかり返し、お互いにキャッチボールをしながら組み立てていくことが大切である。
- ・ 「学校をひらく週間」として、期間を作っていただいたことは、参観する機会が増えて保護者としては有難かった。
- ・ マスクを外すことができない子が増えていることが非常に心配。小学生だけでなく、高校生も外せない子はある。

この他にも様々なご意見をいただきました。本校の子どもたちが、しっかりと『聞く姿勢』を身に付けていくこと、また、運動会を安全な環境の下、より充実したものにしていくことなど、今後も子どもたちのために、学校と保護者の皆様、地域の皆様と協働で学校づくりを進めてまいります。

